



安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	06-4273-6	版	8.00
発行日	2026/05/15	前発行日	2025/08/12

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM スコッチキャストTM 液体レジン NX-015T キット

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

本製品は個々に包装された複数の構成成分からなるキット製品である。SDSには個々の構成成分のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

06-2916-2, 06-2918-8

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	06-2916-2	版	12.00
発行日	2025/08/12	前発行日	2024/12/08

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] スコッチキャスト[™] 液体レジン NX-015T パートA

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

電気用途

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

皮膚感作性： 区分1

生殖毒性： 区分1

生殖細胞変異原性： 区分2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

腐食性 感嘆符 健康有害性 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
アルミナ三水和物	21645-51-2	30 - 40
エピクロルヒドリン・テトラプロモビスフェノールA共重合物	40039-93-8	20 - 30
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	25068-38-6	28
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	30499-70-8	12

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

アルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素
臭化水素
塩化水素
刺激性蒸気あるいはガス

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

切断又は研磨作業中に発生する粉じんの吸入を避ける。子供の手の届かないところに置くこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。指定された個人保護具を使用する。

保管

酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。 アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
CAS NO M ^ˆ AL ^ˆ F	21645-51-2	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
クラス1及び2以外の有機及び無機粉塵、総粉塵	21645-51-2	JSOH OELs	TWA (総粉じんとして) (8時間) : 8 mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間) : 2 mg/m ³	
不活性あるいは有害なダスト	21645-51-2	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	21645-51-2	ACGIH	TWA (吸入粒子) : 10 mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	21645-51-2	ACGIH	TWA (吸入性粒子) : 3 mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL (濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策**設備対策**

加熱する場合は適切な局所排気装置を使用する。 空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 切削、研削、研磨、旋削時に適切な局排換気を行う。

保護具**眼の保護具**

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途（例：スプレー、飛沫発生が予見される用途など）に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	液体/固体
色	淡黄色
臭い	エポキシ
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	引火点はない
蒸発速度	データはない。
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	1.62 [参照基準: 水=1]
溶解度	微量 (<10%)
溶解度 (水以外)	データはない。

n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	37,000 mm ² /sec
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	0 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

混触危険物質

アミン類

強酸

強塩基

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合

化学物質による眼の葉傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

遺伝子毒性

遺伝子毒性・変異原性： 遺伝子と相互作用を起こし、遺伝子発現を変化させる可能性がある。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
アルミナ三水和物	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アルミナ三水和物	吸入－粉塵 / ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
アルミナ三水和物	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエポキrolヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエポキrolヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
エポキrolヒドリン・テトラプロモビスフェノールA共重合物	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
エポキrolヒドリン・テトラプロモビスフェノールA共重合物	経口摂取	ラット	LD50 > 16,000 mg/kg

2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	皮膚	ラット	LD50 > 3,170 mg/kg
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	経口摂取	ラット	LD50 3,398 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アルミナ三水和物	ウサギ	刺激性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ウサギ	軽度の刺激
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	In vitro data	刺激物

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アルミナ三水和物	ウサギ	刺激性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ウサギ	中程度の刺激
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
アルミナ三水和物	モルモット	区分に該当しない。
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ヒト及び動物	感作性あり
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	類似化合物	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	In vivo	変異原性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	In vivo	変異原性

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アルミナ三水和物	特段の規定はない。	多種類の動物種	発がん性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アルミナ三水和物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 768 mg/kg/日	器官発生期
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2世代
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	14日

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2年
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13週
4,4'-イソプロピリデン	経口摂取	聴覚系 心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000	28日

ジフェノールエピクロ ルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エ ポキシ樹脂)		内分泌系 造血 器系 肝臓 眼 腎臓および膀胱			mg/kg/day	
2-エチル-2-(ヒ ドロキシメチル)- 1,3-プロパンジ オール/(クロロメチ ル)オキシランポリマ ー	経口摂取	心臓 皮膚 内 分泌系 消化管 骨、歯、爪及び /又は毛髪 造血 器系 肝臓 免 疫システム 筋 肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系 脈 管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	43 日

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンド ポイント	試験結果
アルミナ三水 和物	21645-51-2	魚	実験	96 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
アルミナ三水 和物	21645-51-2	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
アルミナ三水 和物	21645-51-2	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
アルミナ三水 和物	21645-51-2	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限 界において毒	100 mg/l

					性は見られない	
エピクロルヒドリン・テトラブロモビスフェノールA共重合物	40039-93-8	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
エピクロルヒドリン・テトラブロモビスフェノールA共重合物	40039-93-8	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	100 mg/l
エピクロルヒドリン・テトラブロモビスフェノールA共重合物	40039-93-8	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	LC50	1.8 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>11 mg/l

4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.3 mg/l
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール / (クロロメチル) オキシランポリマー	30499-70-8	バクテリア	実験	18 時間	EC50	>10,000 mg/l
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール / (クロロメチル) オキシランポリマー	30499-70-8	鯉	実験	96 時間	LC50	75 mg/l
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール / (クロロメチル) オキシランポリマー	30499-70-8	緑藻類	実験	72 時間	EC50	9 mg/l
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール / (クロロ	30499-70-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.7 mg/l

メチル) オキシランポリマー						
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル) オキシランポリマー	30499-70-8	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	2.5 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アルミナ三水和物	21645-51-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エピクロロヒドリン・テトラブロモビスフェノールA共重合物	40039-93-8	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t 1/2)	
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール/(クロロメチル) オキシランポリマー	30499-70-8	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	8 %BOD/ThOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アルミナ三水和物	21645-51-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エピクロロヒドリン・テトラブromobisフェノールA共重合物	40039-93-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロロヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオール / (クロロメチル) オキシランポリマー	30499-70-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≤3.4	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質 (液体)

輸送分類 (IMO) : 9 その他の有害性物質

輸送分類 (IATA) : 9 その他の有害性物質

容器等級 : III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

- 労働安全衛生法 : 危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の3)
- 労働安全衛生法 : 皮膚等障害化学物質 (安衛則第594条の2第1項) ; 皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
- 労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質 : 労働省労働基準局長通達 基発第3 1 2号の3の別添1 「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
- 労働基準法に基づく「感作性」化学物質 : 労働省労働基準局通達 基準第 1 8 2号の2
- 海洋汚染防止法 : 環境有害物質
- 労働安全衛生法 : 施行令 1 8 条の 2 名称等を通知すべき有害物
- 労働安全衛生法 : 施行令 1 8 条有害物質 (表示物質)
- 船舶安全法、航空法 : 有害性物質

主な法規制物質

労働安全衛生法 : 通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
4, 4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー (ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	該当	該当	該当
2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1, 3-プロパンジオール/(クロロメチル)オキシランポリマー	2, 2'-[[[2-エチル-2-(オキシラン-2-イルメトキシ)メチル]プロパン-1, 3-ジイル]ビス(オキシ)]ビス(メチレン)]ビス(オキシラン)	適用しない	適用しない	該当

16. その他の情報

改訂情報

- セクション 1 5 : 労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.
- セクション 1 : 製品名 情報修正.
- セクション 2 : GHS分類 情報修正.
- セクション 2 : 健康有害性 情報修正.
- セクション 2 : 注意書き - 安全対策 情報修正.
- セクション 2 : 注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション 2 : ラベル要素の追加GHS情報 情報の削除.
- セクション 3 : 成分表 情報修正.

- 項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
- セクション4：応急措置(飲み込んだ場合)の情報 情報修正.
- セクション4：応急措置(皮膚の接触した場合)の情報 情報修正.
- セクション5：燃焼時有害性の表 情報の追加.
- セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション7：貯蔵情報 情報修正.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - エプロンについて 情報の追加.
- セクション8：保護具 - 皮膚/体幹 情報の削除.
- セクション8：保護具 - 高温危険性 情報の削除.
- セクション8：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の削除.
- セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
- セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の追加.
- セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の削除.
- セクション10：有害な分解物の表 情報修正.
- セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
- セクション11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション11：発がん性の表 情報修正.
- セクション11：健康影響情報(飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション11：健康影響情報(皮膚) 情報修正.
- セクション11：生殖毒性の表 情報修正.
- セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション11：皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション14：IATA分類の標準フレーズ 情報修正.
- セクション14：IMO分類の見出し標準フレーズ 情報修正.
- セクション14：国連番号の標準フレーズ 情報修正.
- セクション15：労働安全衛生法の表 情報修正.
- セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2026, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	06-2918-8	版	15.00
発行日	2026/05/15	前発行日	2025/08/12

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] スコッチキャスト[™] 液体レジン NX-015T パートB

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

電気用途

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2 A

呼吸器感作性： 区分 1

皮膚感作性： 区分 1

発がん性： 区分 1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分 1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 3

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分 3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H334	吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H350	発がんのおそれ
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 呼吸器
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 皮膚
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P284A	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

P308 + P313

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管

P405

施錠して保管すること。

廃棄

P501

内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
無水マレイン酸変性のヒマシ油	68308-83-8	20 - 40
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	20 - 30
タルク	14807-96-6	20 - 30
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	32588-76-4	5 - 15
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	8.3
クロレンド酸無水物	115-27-5	< 3
無水マレイン酸	108-31-6	0.35
結晶性シリカ	14808-60-7	0.25

4. 応急措置**応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物**物質**

一酸化炭素
 二酸化炭素
 臭化水素
 シアン化水素
 刺激性蒸気あるいはガス
 窒素酸化物
 アンチモン酸化物

条件

燃焼中
 燃焼中
 燃焼中
 燃焼中
 燃焼中
 燃焼中
 燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

密閉された換気不良の場所で使用しないこと。 子供の手の届かないところに置くこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。

保管

酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
無水マレイン酸	108-31-6	ACGIH	TWA(吸入分画および蒸気):0.01mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質。皮膚//呼吸器感作性物質。
無水マレイン酸	108-31-6	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):0.08 mg/m ³	25°C1気圧空气中
無水マレイン酸	108-31-6	JSOH OELs	TWA(8時間):0.4 mg/m ³ (0.1 ppm); CEIL:0.8 mg/m ³ (0.2 ppm)	呼吸器感作性のおそれ。皮膚感作性のおそれ。
酸化アンチモン(3+)	1309-64-4	ACGIH	TWA(吸入分画):0.02mg/m ³	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる物質
酸化アンチモン(3+)	1309-64-4	ISHL	TLV(8時間):0.1 mg/m ³	
酸化アンチモン(3+)	1309-64-4	JSOH OELs	TWA(アンチモンとして)(8時間):0.1 mg/m ³	2A: ヒトに対しておそらく発がん性がある(証拠が比較的十分)
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA(吸入性分画):2 mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(粒子総計として)(8時間):4 mg/m ³ ;TWA(呼吸性粒子に関して)(8時間):1 mg/m ³	
タルク(石綿繊維含有)	14807-96-6	JSOH OELs	限界値は未設定	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m ³ ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03	1: ヒトに対して発がん性がある。

			mg/m ³	
結晶質シリカ, 吸入性粉じん	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m ³ ;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m ³	1: ヒトに対して発がん性がある。
結晶質シリカ, 呼吸性画分	14808-60-7	ACGIH	TWA(吸入性画分): 0.025 mg/m ³	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる物質

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。熱処理オーブンの排気は屋外又は排気設備に放出すること。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質: 樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途(例: スプレー、飛沫発生が予見される用途など)に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する:

有機ガスもしくは酸性ガス用防毒マスク(ろ過材付き)

半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	液体/固体
色	白色
臭い	アミン
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	174 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない
相対蒸気密度	適用しない
密度	1.43 g/cm ³
比重	1.43 [参照基準: 水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘性率	21,000 mm ² /sec
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	0 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性

適用しない

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

混触危険物質

強酸
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質 条件
知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。アレルギー性呼吸器反応：呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

線維症： 無呼吸、慢性的空咳、痰、喘鳴及び肺機能検査結果の変化などの症状。 塵肺症： 持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化などの症状。 皮膚への影響： 発赤、かゆみ、ニキビ様吹き出物、腫れ物などの症状。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ドデセニル無水コハク酸	皮膚	ウサギ	LD50 > 6,200 mg/kg
ドデセニル無水コハク酸	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 1.2 mg/l
ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	ラット	LD50 2,900 mg/kg
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 51 mg/l
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	経口摂取	ラット	LD50 > 7,500 mg/kg
酸化アンチモン (3+)	皮膚	ウサギ	LD50 > 6,685 mg/kg
酸化アンチモン (3+)	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 2.76 mg/l
酸化アンチモン (3+)	経口摂取	ラット	LD50 > 34,600 mg/kg
クロレンド酸無水物	皮膚	ウサギ	LD50 > 10000, < 20000 mg/kg
クロレンド酸無水物	吸入-粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 50.75 mg/l
クロレンド酸無水物	経口摂取	ラット	LD50 2,130 mg/kg
無水マレイン酸	皮膚	ウサギ	LD50 2,620 mg/kg
無水マレイン酸	経口摂取	ラット	LD50 1,030 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ウサギ	刺激性なし
ドデセニル無水コハク酸	ウサギ	軽度の刺激
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	ウサギ	刺激性なし
酸化アンチモン (3+)	ヒト及び動物	ごく僅かな刺激臭
クロレンド酸無水物	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
無水マレイン酸	ヒト及び動物	腐食性

結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし
--------	----------	-------

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ウサギ	刺激性なし
ドデセニル無水コハク酸	ウサギ	激しい刺激
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	ウサギ	刺激性なし
酸化アンチモン (3+)	ウサギ	軽度の刺激
クロレンド酸無水物	ウサギ	激しい刺激
無水マレイン酸	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ドデセニル無水コハク酸	類似化合物	感作性あり
酸化アンチモン (3+)	ヒト	区分に該当しない。
クロレンド酸無水物	モルモット	感作性あり
無水マレイン酸	多種類の動物種	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。
ドデセニル無水コハク酸	類似化合物	感作性あり
無水マレイン酸	ヒト	感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
ドデセニル無水コハク酸	In vitro	変異原性なし
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	In vitro	変異原性なし
酸化アンチモン (3+)	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アンチモン (3+)	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
クロレンド酸無水物	In vitro	変異原性なし
無水マレイン酸	In vivo	変異原性なし
無水マレイン酸	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
タルク	皮膚	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
タルク	吸入した場合	ラット	発がん性
酸化アンチモン (3+)	吸入した	多種類	発がん性

	場合	の動物種	
クロレンド酸無水物	経口摂取	類似化合物	発がん性
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生效影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,000 mg/kg/日	器官発生期
酸化アンチモン (3+)	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.25 mg/l	交配前および妊娠中。
クロレンド酸無水物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 223 mg/kg/日	5日
クロレンド酸無水物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	器官発生期
無水マレイン酸	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 55 mg/kg/日	2世代
無水マレイン酸	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 55 mg/kg/日	2世代
無水マレイン酸	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 140 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ドデセニル無水コハク酸	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
酸化アンチモン (3+)	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	
クロレンド酸無水物	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
無水マレイン酸	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m ³	113週
タルク	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m ³	113週
ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	14日
ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	14日
ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	14日

ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	14 日
ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	14 日
ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	14 日
ドデセニル無水コハク酸	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	14 日
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	90 日
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	90 日
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	90 日
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	90 日
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	90 日
酸化アンチモン (3+)	皮膚	皮膚	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アンチモン (3+)	吸入した場合	肺線維症	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	1 年
酸化アンチモン (3+)	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.043 mg/l	1 年
酸化アンチモン (3+)	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	入手できない
酸化アンチモン (3+)	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	LOAEL 0.01 mg/l	職業性被ばく
酸化アンチモン (3+)	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.02 mg/l	1 年
酸化アンチモン (3+)	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 418 mg/kg/日	入手できない
酸化アンチモン (3+)	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 418 mg/kg/日	入手できない
酸化アンチモン (3+)	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	入手できない
クロレンド酸無水物	皮膚	皮膚	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2,500 mg/kg/日	3 週
クロレンド酸無水物	皮膚	消化管	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2,500 mg/kg/日	3 週
クロレンド酸無水物	皮膚	造血器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2,500 mg/kg/日	3 週
クロレンド酸無水物	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2,500 mg/kg/日	3 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	皮膚	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週

	場合				mg/l	
クロレンド酸無水物	吸入した場合	骨、歯、爪及び/ 又は毛髪	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	吸入した場合	脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.97 mg/l	4 週
クロレンド酸無水物	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 202 mg/kg/日	90 日
クロレンド酸無水物	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 202 mg/kg/日	90 日
クロレンド酸無水物	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 202 mg/kg/日	90 日
クロレンド酸無水物	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 202 mg/kg/日	90 日
クロレンド酸無水物	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 202 mg/kg/日	90 日
無水マレイン酸	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.0011 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 55 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 250 mg/kg/日	183 日
無水マレイン酸	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	183 日
無水マレイン酸	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	183 日
無水マレイン酸	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 60 mg/kg/日	90 日
無水マレイン酸	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150	80 日

					mg/kg/日	
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
無水マレイン酸変性のヒマシ油	68308-83-8	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	メダカ	実験	96 時間	LC50	3.8 mg/l
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	13 mg/l
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.76 mg/l
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.31 mg/l
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
N, N' -エ	32588-76-4	該当なし	分類にデータ	該当なし	該当なし	該当なし

チレンビス (テトラプロ モフタルイミ ド)			が利用できな い、あるいは 不足してい る。			
クロレンド酸 無水物	115-27-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	422.7 mg/l
クロレンド酸 無水物	115-27-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	110.7 mg/l
クロレンド酸 無水物	115-27-5	緑藻類	加水分解生成 物	72 時間	EC50	>97.2 mg/l
クロレンド酸 無水物	115-27-5	緑藻類	加水分解生成 物	72 時間	NOEC	48.4 mg/l
クロレンド酸 無水物	115-27-5	液状化	実験	3 時間	EC50	670 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	緑藻類	エンドポイン トに達しな い。	72 時間	ErC50	>100 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	ファットヘッ ドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LC50	17.2 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	魚	推定値	96 時間	LC50	8.3 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	無脊椎動物	推定値	96 時間	EC50	2.12 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	2.53 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	ニジマス	推定値	28 日	LC10	0.188 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	2.08 mg/l
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	液状化	推定値	4 時間	NOEC	6.1 mg/l
無水マレイン 酸	108-31-6	バクテリア	実験	18 時間	EC10	44.6 mg/l
無水マレイン 酸	108-31-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	75 mg/l
無水マレイン 酸	108-31-6	緑藻類	加水分解生成 物	72 時間	ErC50	74.4 mg/l
無水マレイン 酸	108-31-6	ミジンコ	加水分解生成 物	48 時間	EC50	93.8 mg/l
無水マレイン 酸	108-31-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	10 mg/l
無水マレイン 酸	108-31-6	緑藻類	加水分解生成 物	72 時間	ErC10	11.8 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッ シュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l

結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
--------	------------	-----	-----	-------	------	---------

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
無水マレイン酸変性のヒマシ油	68308-83-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	モデル 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	87 CO2発生量/理論CO2発生量%	Catalogic [™]
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	モデル 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	25 日 (t 1/2)	Catalogic [™]
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
N, N' -エチレンビス (テトラプロモフタルイミド)	32588-76-4	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
クロレンド酸無水物	115-27-5	加水分解物生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
クロレンド酸無水物	115-27-5	実験 水生固有生分解性	31 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 302C類似法
酸化アンチモン (3+)	1309-64-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
無水マレイン酸	108-31-6	加水分解物生分解性	25 日	二酸化炭素の発生	>90 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
無水マレイン酸	108-31-6	実験 加水分解		加水分解性半減期	0.37 分 (t 1/2)	
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
無水マレイン酸変性のヒマシ油	68308-83-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ドデセニル無水コハク酸	25377-73-5	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	6.2	Catalogic [™]
タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
N, N' -エ	32588-76-4	実験 BCF -	56 日	生物濃縮係数	<3.3	

チレンビス (テトラプロ モフタルイミ ド)		魚				
N, N' -エ チレンビス (テトラプロ モフタルイミ ド)	32588-76-4	モデル 生態 濃縮		オクタノール /水 分配係 数	9.8	EPI suite [™]
クロレンド酸 無水物	115-27-5	加水分解物 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	≤2.1	
クロレンド酸 無水物	115-27-5	加水分解物 生態濃縮		オクタノール /水 分配係 数	-1.59	EC A.8 分配係数
酸化アンチモ ン (3+)	1309-64-4	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
無水マレイン 酸	108-31-6	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	-2.61	OECD107 log Kow フ ラスコ振騰法
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報**

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）
 労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；本SDSのGHS分類により適用
 労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物
 労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）
 労働安全衛生法：施行令別表第三第二項および第三項 特定化学物質
 地方労働局長宛て通達 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について 昭和57年6月8日基発第339号
 消防法：第四類第三石油類
 化管法：指定化学物質
 労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
酸化アンチモン（3+）	三酸化二アンチモン	該当	該当	該当
無水マレイン酸	無水マレイン酸	該当	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
酸化アンチモン（3+）	アンチモン及びその化合物	31	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション 2：環境影響ステートメント 情報修正。
 セクション 2：GHS分類 情報修正。
 セクション 2：絵表示 情報修正。
 セクション 3：成分表 情報修正。
 セクション 5：燃焼時有害性の表 情報修正。
 セクション 7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。
 セクション 8：作業環境許容値 情報修正。
 セクション 9：密度情報 情報修正。
 セクション 9：動粘性率情報 情報修正。
 セクション 11：急性毒性の表 情報修正。
 セクション 11：発がん性の表 情報修正。
 セクション 11：生殖胞変異原性の表 情報修正。
 セクション 11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正。
 セクション 11：生殖毒性の表 情報修正。
 セクション 11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
 セクション 11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
 セクション 11：皮膚感作性の表 情報修正。

セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 1.2 : 水生生物への急性毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 1.5 : 労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。